

# まちぐるみの安全と 災害対策について



質問者  
鍵和田 貴実代 議員

近頃TV報道で、火災が多発し、命を亡くしてしまう方が少なくありません。火災ゼロの町にしたいものです。住宅火災警報器設置について

① 無料設置対象となる一人暮らしの高齢者318戸のうち8月24日まで124戸の取り付け完了ですが、今現在の完了戸数は。

② 災害対策について、松田は神縄・国府津・松田断層があり、渋沢・秦野・伊勢原断層に囲まれています。町民向けのわかりやすい防災に関する冊子やパンフレットはありますが、町民参加型マップ（町民の声による危険箇所等）自治会ごとの世帯

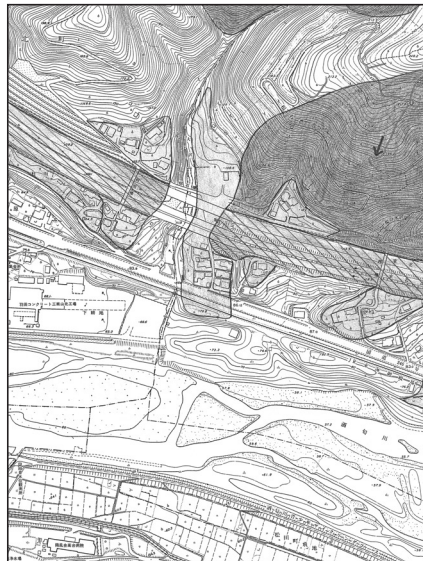
マップ（在宅介護者、障害児者等の把握）は、まちぐるみによる助け合いと災害時要援護者支援に重要な役割があると思います。今後、作成するお考えはありますか。



積極的に  
取り組みます  
回答（町長）

① 一人暮らし高齢者318戸のうち、11月末現在164戸設置完了。H22年度には移動に困難な重度障害者への無

料設置を考えている。  
② 町民参加型マップについては、災害時の事前知識として周知し、日頃からの認識を高めるために有効であり、地域住民が主体となり取り組みが必要不可欠と考える。自治会ごとの世帯マップについては、現在町で「要援護者の登録申請」の受付や補正を随時行っている。今後も引き続き受付協力の周知を行う。また、自治会長、民生委員の協力のもとに情報の共有化を図り、災害時における避難活動や安否確認などの初動体制をスムーズに行うために、町も関係機関と協力し、積極的に取り組んでいく。



神縄・国府津一松田断層帯